

# まちおこしの スパイス

地域おこし協力隊



かわしま ひらく  
**川島 拓** 隊員  
25歳。北海道より移住

生産者と消費者をオンラインでつなぐ、  
新しい野菜の流通が始まっています！

新型コロナウイルスの影響で県境をまたぐ移動の自粛が求められているなか、オンライン上で笠間市の農家と県外の消費者との新しいつながりが生まれ始めています。

笠間市の特産品である自然薯を生産している市内の農家さんは、コロナウイルスの影響を受け、飲食店向けの出荷が減少してしまいました。そこで、インターネット上の直売所「食べチョク」を利用し、ネット販売を始めたところ、東京や大阪をはじめ全国から注文が入りました。サイト上では、「粘りが強くて美味しかったです。」「頑張ってください。」「など、購入者からのメッセージが寄せられました。

野菜の生産を行う農家さんは、以前から「ポケットマルシェ」というサイトで野菜の販売に取り組んでいます。4月には家で過ごす人を応援しようと「コロナに負けるな！生活応援」企画としてスナックエンドウを特別価格で販売したところ、全国から多数の注文があり、食べた人からはたくさん感謝の言葉が寄せられました。

厚生労働省が呼びかけている「新しい生活様式」には、外出を減らし、買えるものは通販等も有効に利用することが盛り込まれています。笠間市の農家さんと一緒に、コロナ時代に合わせた農産物の新たな販売方法を探っていきたいと思えます。



ポケットマルシェに出品したスナックエンドウとカリノケールのセット

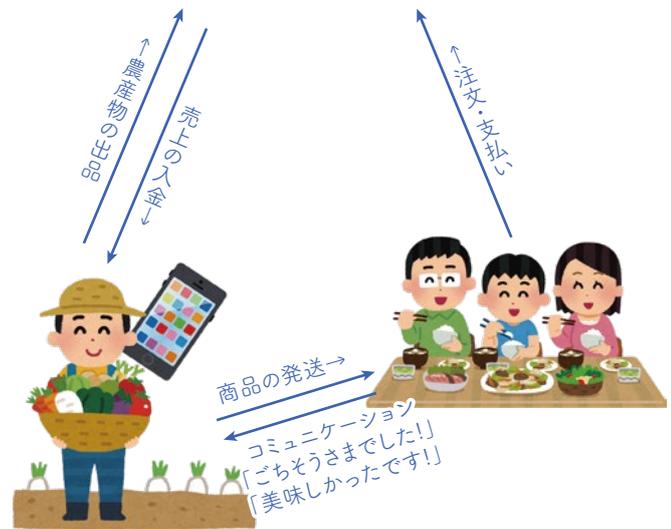


食べチョクに出品している自然薯



ケール畑

食べチョク  
ポケットマルシェ  
(ネット販売サイト)



Note

## 地域おこし協力隊とは？

地域おこし協力隊とは、総務省が平成21年度から取り組んでいる制度で、都市部の意欲ある人材が地方へ移住（最長3年）し、地域力の維持・強化を目的とした支援活動を行うものです。

【問い合わせ】  
秘書課（内線224）

フェイスブックも  
ご覧ください

